

# TEISEN REPORT

## 第95期中間報告書

自 2020年 1 月 1 日

至 2020年 6 月30日

帝国纖維株式会社

## ご挨拶



代表取締役社長 白岩 強

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第95期上半期（2020年1月1日から2020年6月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

まずはこの度、新型コロナウイルスに罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係者をはじめ、感染症の拡大防止・収束に向けて、最前線でご尽力頂いている方々に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大はもとより、本年においても、大規模自然災害による脅威が甚大な被害を発生させております。

7月に入り、線状降水帯による集中豪雨により、熊本県を中心とした九州や中部地方に深刻な洪水被害が発生、多くの尊い人命が失われました。

このような高まる自然災害の猛威に対し、当社グループは今年度よりスタートさせた第五次中期経営計画「テイケン帝国繊維2022」では、

≪先進的防災事業を確立・発展させ

多発化・激甚化する自然災害・気候変動による脅威から

社会や事業の安心・安全を守る!≫

を目標に掲げ取り組んでまいります。

社会の安全、生活文化の向上に貢献する企業を目指すという当社創業以来の理念は、113周年を迎える今、益々時代性を帯び一層の輝きを放っています。

引続き、防災事業を事業の中核とする当社の社会的使命を改めて自覚し、その役割を完遂することに努めてまいります。

何卒、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 経営理念

当社グループは創業時から受け継がれた「社会の安全、生活文化の向上に貢献する企業」を基本理念とし、戦前は製麻事業を中心に広く国家的貢献を果たし、また、近時は総合防災事業とリネン事業という2つの価値ある事業を通じて、1世紀以上に亘り、社会・国民の安心・安全と良質な生活文化の向上に貢献してまいりました。

当社グループは、これらの事業活動を通じて、「一味ちがった優れた企業」「発展し成長を続ける企業」「社会や公共に大きく貢献する企業」の実現を目指しております。

## Q | 当中間期の概況についてお聞かせください。

A 当中間期におけるわが国経済は、当初、企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続くと見られていたものの、新型コロナウイルス感染が急速に拡大し、それに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、個人消費や輸出、生産の減少に加え、雇用情勢や設備投資も弱含みになる等、極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後も依然として先行き不透明かつ深刻な状況が続いております。

当社の主要事業である防災事業の分野では、救助工作車、空港用化学消防車の売上が堅調に推移していることに加えて、コンビナートなど大手民間企業向け大型防災資機材及び空港向けセキュリティ機材の売上が順調に拡大しております。

繊維事業の分野では、リネン（麻）につきましては、リネンそのものの再評価が進む中、麻素材の市場定着が進んでまいりましたが、新型コロナウイルスの影響から市場は収縮しており、売上は減少しています。

一方、耐熱、耐切創、高強力など優れた機能の特徴とする高機能繊維につきましては、防護服分野を中心に新規商材の開発が進展しつつあります。

その結果、当中間期の売上高は204億8千万円（前年同期比22.7%増）、営業利益は29億2千3百万円（前年同期比20.6%増）、経常利益は32億8千1百万円（前年同期比20.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億8千万円（前年同期比24.9%増）となりました。

## Q | 今後の見通しについてお聞かせください。

A 当中間期の業績につきましては、ほぼ見込み通りの業績を上げることが出来ました。通期業績においても、期初に発表しております業績予想に沿った業績を挙げ得るものと考えております。

今年度よりスタートした第五次中期経営計画「<sup>テイセン</sup>帝国繊維2022」で掲げた先進的防災事業の確立・発展を通じ、社会的使命と責任を果たすとともに、収益力の持続的拡大と企業価値の向上に取り組んでまいり所存です。

### 中期経営計画「<sup>テイ</sup>帝国<sup>キョウ</sup>繊維2022」について

今年度（2020年度）からスタートした第五次中期経営計画「<sup>テイ</sup>帝国<sup>キョウ</sup>繊維2022」では、

≪先進的防災事業を確立・発展させ  
多発化・激甚化する自然災害・気候変動による脅威から  
社会や事業の安心・安全を守る！≫

を目標に、以下のテーマを推進してまいります。

1. 大量送排水システムによる新たな市場開拓  
基幹産業のBCP対策、国土交通省・自治体による水害対策への貢献
2. セキュリティビジネスの新たなフロンティアを切り拓く  
セキュリティビジネスにおける商材開発強化と空港を足掛かりとする市場拡大
3. 防災特殊車輛ビジネスの確立  
革新的な防災特殊車輛により、消防防災・産業防災の装備刷新・充実に貢献する
4. 当社事業の基盤である足元の事業を固め、一層磨き上げる  
消防ホース・防災車輛・資機材・防火衣等特殊被服の4事業分野で確固たる業界No.1の地位を確保する
5. 消防ホース・防災車輛生産体制の刷新
6. 収益力の持続的強化を目指す

#### 大量送排水システムによる新たな市場開拓

近年、スーパー台風や記録的な大雨により、甚大な水害被害が日本各地で発生しています。洪水や高潮などによる被害の最小化は、国・地方自治体・企業が取組むべき共通の課題となっています。大量送排水システム（ハイドロサブシステム）による新たな市場を開拓し、水害対策に貢献してまいります。優れた商材と強力な営業力（体制）で、市場席捲を目指します。

## セキュリティビジネスの新たなフロンティアを切り拓く

爆物検知器やボディスキャナーなどにより、空港向けセキュリティビジネスは大きく発展いたしました。テロは世界的な広がりを見せており、訪日外国人旅行者も大きく増加しています。セキュリティ商材の開発を強化し、空港を足掛かりとして、その先にある膨大なポテンシャルを秘めたセキュリティビジネスの新たなフロンティアを切り拓いてまいります。

## 防災特殊車輛ビジネスの確立

多発化・激甚化する災害に備えるための消防・企業の防災対応力強化に対し、水利確保・水害対策用車輛や救助工作車を中心とした革新的な防災特殊車輛の開発・拡販をもって、消防防災・産業防災の装備刷新・充実に貢献してまいります。

## 当社事業の基盤である足元の事業を固め、一層磨き上げる

消防防災を対象とする消防ホース・防災車輛・資機材・防火衣等特殊被服は、当社防災事業の根幹をなす事業基盤です。技術を磨き、新たな商材を投入し、業界No.1の地位を確固たるものにすることを目指します。市町村消防の広域化、緊急消防援助隊の増設と機動力の強化など、消防防災の役割拡大・機能強化に貢献することを目指してまいります。

## 消防ホース・防災車輛生産体制の刷新

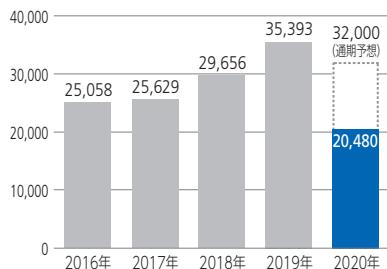
消防ホース・防災車輛の生産にかかわる人材・設備・生産技術に磨きをかけ、商品開発力向上・品質改善・コスト低減を進めてまいります。事業の発展を支える生産体制の刷新・高度化が緊急の課題であり、これを推進してまいります。

当社グループは、防災事業の社会的使命と責任をしっかりと受け止め、創業以来の社是である「社会の安全と生活文化の向上」への貢献を通じて、その負託に応えてまいります。

# 連結財務ハイライト／セグメント別の概況

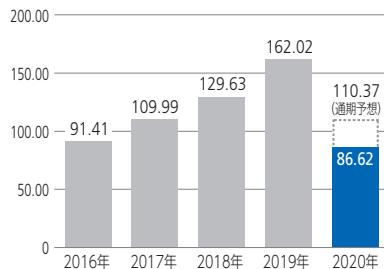
## 売上高

(単位：百万円)



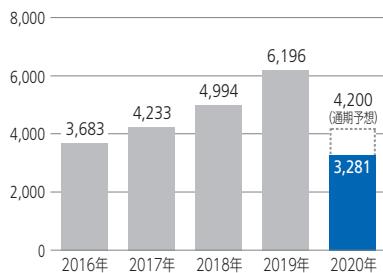
## 1株当たり当期(四半期)純利益

(単位：円)



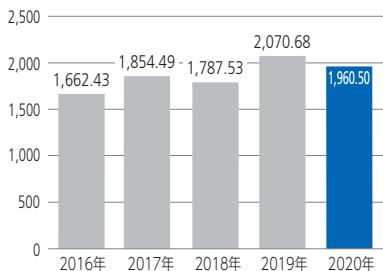
## 経常利益

(単位：百万円)



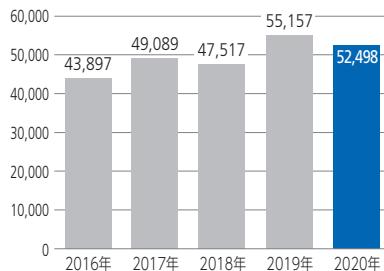
## 1株当たり純資産

(単位：円)

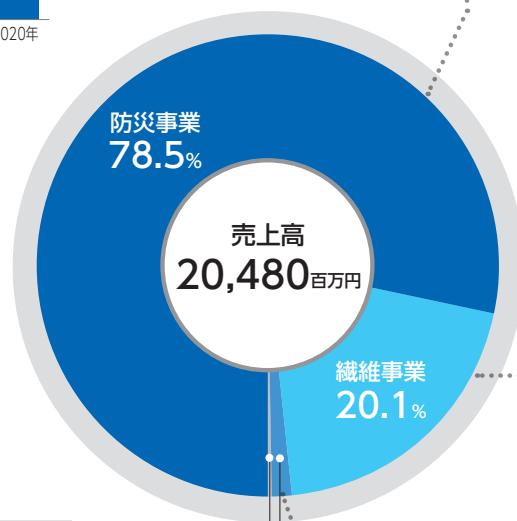


## 純資産

(単位：百万円)



## セグメント別売上構成比



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 防災事業 ● 売上高／16,082百万円

### 売上高



救助工作車、空港用化学消防車が引き続き堅調に推移していることに加えて、コンビナートなど大手民間企業向け大型防災資機材及び空港向けセキュリティ機材が売上を伸ばしたことから、売上高は160億8千2百万円（前年同期比20.6%増）となりました。



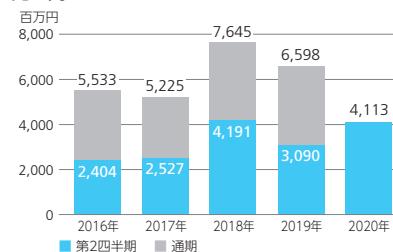
遠距離大量送排水システム



空港用化学消防車 他

## 繊維事業 ● 売上高／4,113百万円

### 売上高



官公庁向け繊維資材が売上を伸ばした結果、売上高は41億1千3百万円（前年同期比33.1%増）となりました。



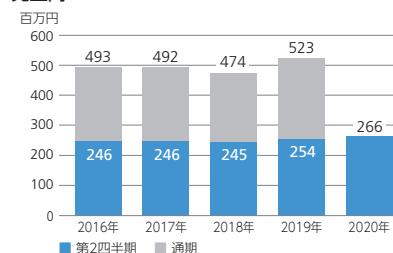
麻素材展示会



亜麻（リネン）の花

## 不動産賃貸事業 ● 売上高／266百万円

### 売上高



不動産賃貸事業は概ね順調に推移しており、売上高は2億6千6百万円（前年同期比4.7%増）となりました。



鹿沼ショッピングセンター



イオンタウン大垣

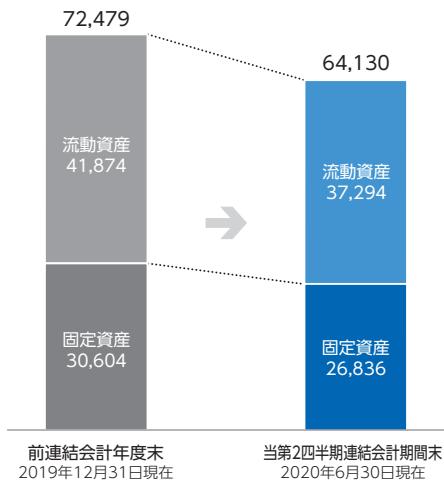
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 四半期連結財務諸表

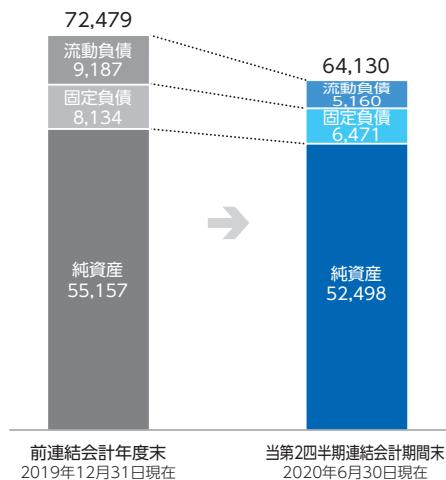
## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

### 資産の部

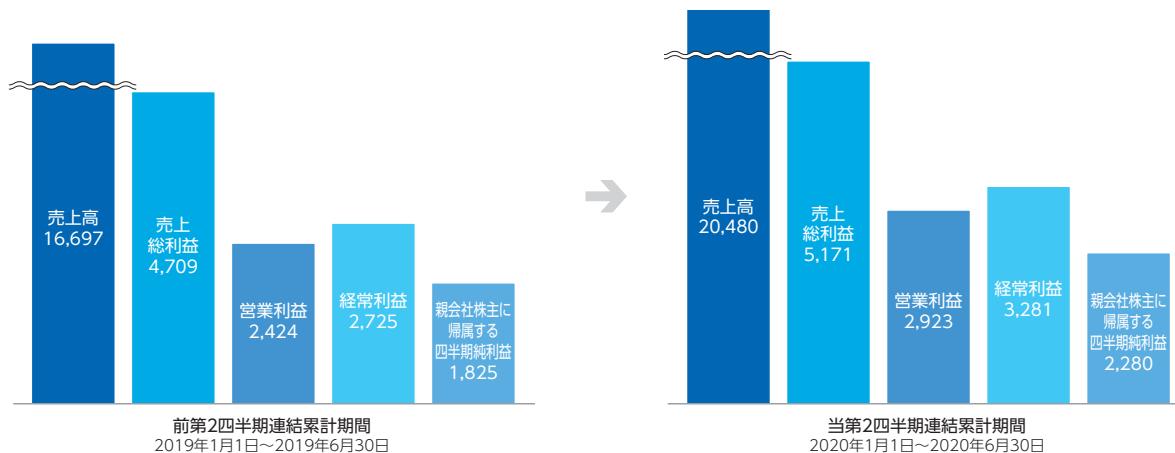


### 負債・純資産の部



## 四半期連結損益計算書 (要旨)

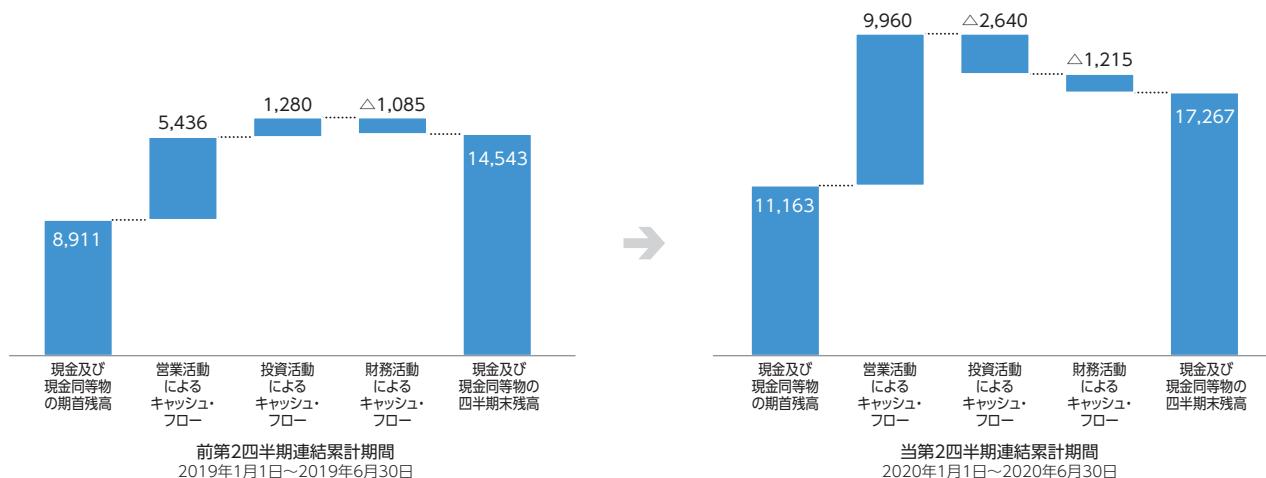
(単位：百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



### 財務のポイント

#### ○資産

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が83億4千8百万円減少し、641億3千万円となりました。

これは主として、現金及び預金が増加した一方で、売上債権の減少、たな卸資産や保有上場株式の含み益の減少などがあったことによるものです。

#### ○負債

負債は、仕入債務や繰延税金負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ56億8千9百万円減少し、116億3千2百万円となりました。

#### ○純資産

純資産は、利益剰余金が増加した一方で、保有上場株式の含み益の減少などがあり、前連結会計年度末と比べ26億5千8百万円減少し、524億9千8百万円となりました。

た。この結果、自己資本比率は80.7%となりました。

#### ○営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の収入は、前年同期に比べ法人税等の支払額が増加した一方で、税金等調整前四半期純利益や売上債権の回収の増加、たな卸資産の減少などにより、前年同期に比べ45億2千3百万円増加し、99億6千万円となりました。

#### ○投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の支出は、譲渡性預金での運用や有形固定資産の取得などにより、26億4千万円（前年同期は12億8千万円の資金の収入）となりました。

#### ○財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の支出は、配当金の支払や長期借入金返済などがあり、前年同期と同水準の12億1千5百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 会社概要 (2020年6月30日現在)

- 商号 帝国繊維株式会社 (TEIKOKU SEN-I Co.,Ltd.)
- 設立年月日 1950年(昭和25年)7月1日/  
創立 1907年(明治40年)7月26日
- 資本金 1,538,002,500円
- 従業員数 156人(連結ベース331人)
- 代表者 代表取締役社長 白岩 強
- 主要な営業所および工場 本 社/東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
(日本橋高島屋三井ビルディング15階)  
鹿沼工場/栃木県鹿沼市府所本町197番地

- 取締役  
および監査役
- |         |     |    |
|---------|-----|----|
| 代表取締役社長 | 白岩  | 強  |
| 取締役副社長  | 榎谷  | 徹  |
| 常務取締役   | 岡村  | 建  |
| 常務取締役   | 中尾  | 徹  |
| 取締役     | 片野  | 恭秀 |
| 取締役     | 高橋  | 信明 |
| 取締役     | 多賀谷 | 毅  |
| 取締役     | 高木  | 裕康 |
| 取締役     | 深澤  | 正宏 |
| 監査役     | 山口  | 和良 |
| 監査役     | 小林  | 元  |
| 監査役     | 松居  | 隆  |

### ○グループ企業の概要

会社名	資本金(百万円)	議決権比率(%)	主要な事業内容
帝商株式会社	85	100	消防ホース・防災機器・防災車輛の販売、設計 設備工事ならびに繊維製品の製造販売
キンパイ商事株式会社	50	100	消防ホース・防災機器・防災車輛の販売、設計 設備工事ならびに繊維製品の製造販売
テイセン産業株式会社	123	100	重布、布帛、繊維製品の縫製加工販売、 保険代理業
株式会社テイセンテクノ	30	100	防災車輛・機器の製造、保守

## 株式情報 (2020年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 97,600,000株
- 発行済株式総数 27,354,400株  
(自己株式943,425株を含む)
- 株主数 5,965名

### ○主な株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
損害保険ジャパン株式会社	1,587	6.00
株式会社みずほ銀行	1,295	4.90
明治安田生命保険相互会社	1,290	4.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,177	4.45
丸紅株式会社	960	3.63
ヒューリック株式会社	936	3.54
西松建設株式会社	800	3.02
株式会社モリタホールディングス	790	2.99
エイブアイ グローバル トラスト ピーエルシー	664	2.51
みずほ信託銀行株式会社	598	2.26

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
2. 持株比率は自己株式(943,425株)を控除して計算しています。

- 決算期 12月31日
- 定時株主総会 3月下旬
- 同総会基準日 12月31日  
 その他必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
- 中間配当確定日 中間配当を実施するときは、6月30日
- 単元株式数 100株

- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

- 郵便物送付先  
 電話お問い合わせ先  
 各種手続お取扱店

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットアース (株式会社みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。
		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 <sup>(※)</sup> (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承 ください。
未払配当金 のお支払	みずほ信託銀行株式会社 <sup>(※)</sup> および株式会社みずほ銀行の本店および全国支店(みずほ証券株式会社では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

- 公告方法 電子公告の方法により行います。  
 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 公告を掲載する当社ホームページ  
<http://www.teisen.co.jp/>

## 株主優待制度のご案内

- 対象となる株主様 毎年12月31日現在の株主名簿に記録された100株（1単元）以上保有されている株主様
- 優待内容 QUOカード1,000円分と3,000円相当の自社（リネン）製品
- 実施時期 毎年3月下旬の発送を予定しております。

テイセン

帝国繊維株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号 (日本橋高島屋三井ビルディング15階)  
TEL (03)3281-3022 FAX (03)3275-2162

